

令和7年度 シニア山口 山口支部事業方針

I 基本方針

「のばそう！健康寿命、担おう！地域づくりを」

全国的に「少子高齢化」が進む中で、人口減少をはじめとする地域課題が山積している。

山口県においては、全国に比べ約10年早いスピードで高齢化が進行し、高齢化率は全国で3番目になっている。

こうした中、誰もが住みたい地域で生きがいを持って暮らし、共に支え合う「地域共生社会」に向けた取り組みが進められている。

また、これまでに老人クラブがそれぞれの地域において長年にわたり培ってきた豊富な知識や経験、能力を活かし、会員一人ひとりが連携し地域の一員として、高齢者の健康・生きがいづくりなどを地域活動への参加につなげていくことが多いに期待されている。

一方、高齢者が高齢者を支える地域づくりが必要とされている中で、老人クラブにおいて会員やクラブ数の減少が続いており、高齢者を取り巻く環境は非常に厳しくなっている。

このため、長年にわたり「健康・友愛・奉仕」のスローガンをベースに様々な活動を継続して行ってきたところであるが、さらに組織の社会的な重要性を訴えるとともに、更なる工夫をしながら活動の継続、活性化を促進していく必要がある。

2025年問題までに「地域包括ケアシステム」の構築の実現を目指した年に当たり、団塊世代の多くが後期高齢者を迎えている。

その中で老人クラブとして最も、関りの深い課題として、高齢者が住み慣れた地域で豊かで健康的に暮らし続けるためには、地域における相互の支え合い活動が重要である。

近年、この事業を重点として取り組んできたところであり、その成果も徐々に現れているところである。

今年も、地域の関係機関、団体等と密接な連携を図り、老人クラブが福祉団体の先導役として、その推進に引き続き務めることにする。

Ⅱ 重点目標

1. 組織の活性化と事業の推進
2. 若手委員会を中心とした会員増強運動の推進
3. 地域の将来における超高齢化社会を見据えた「地域支え合い活動事業」の推進
4. 市町老連活性化事業の推進

Ⅲ 事業

1. 若手会員、若手・女性役員の登用
2. 市町老連活性化事業の推進
 - ①スポーツ委員会による健康な身体作りの推進
 - ・「自分の健康は自分で守る」をスローガンにした、各種スポーツの実践と大会への参加
 - ・いきいき 100 歳体操への参加への促進
 - ・いきいきクラブ体操の普及
 - ・フレイル予防活動
 - ②女性委員を中心に、楽しい仲間づくり活動や友愛訪問活動・小グループ活動の推進
 - ③互助が地域の高齢者の暮らしを支え合うことから、会員の連携による日々の生活の支援体制を構築する。
 - ④地域行事への積極的な参加と「地域支え合い活動事業」推進
 - ・各地域での見守り活動や交通安全活動などへの参加
 - ・地域支え合い活動研修会の実施
3. 若手委員会の活動推進と会員増強の促進
 - ①会員増強ゴルフ大会・カローリング大会等の実施
 - ②会員加入促進 PR 用パンフレットの活用
 - ③1 単老における 2～3 名の新規会員の増加、支部 60～74 歳会員 2%の増加